Creative Enzymes®

ネイティブ ストレプトマイセス属 フォスフォリパーゼ D

Cat. No. NATE-0597

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	ホスホリパーゼD（PLD）はグリセロホスファリピッド特異的です。スフィンゴミエリンやリゾホスファリピッドに□しては著しく活性が低いです。ホスホリパーゼDはホスファリピッドとスフィンゴミエリンのリン酸結合を加水分解し、□□するホスファチジン酸を生成します。
用途	ホスホリパーゼD（PLD）は、ホスホリピッドおよびスフィンゴミエリンのリン酸結合を加水分解して□□するホスファチジン酸を生成するために使用されてきました。また、プロパルギル-コリンの取り込みを測定することによって、in vivoでのコリンホスホリピッドの代謝ラベリングおよび直接イメージングの研究にも使用されています。さらに、PLDは精製および動力学的研究にも使用されています。この酵素は、in vitro条件下でスフィンゴシンキナーゼ1（SK1）を膜画分に移動させるためにも使用されています。また、HL60透過性細胞においてホスファチジルコリン（PC）からホスファチジン酸（PA）を生成するためにも使用されています。
別名	ホスホリパーゼD; リポホスホジエステラーゼII; レシチナーゼD; コリンホスファターゼ; ホスファチジルコリンホスファチジオヒドロラーゼ; EC 3.1.4.4; 9001-87-0; PLD

製品情報

由来	ストレプトマイセス属
形態	タイプVII、凍結乾燥粉末
***EC*番号**	EC 3.1.4.4
***CAS*登□番号**	9001-87-0
活性	> 150 ユニット/mg 固体
単位定義	1ユニットは、pH 5.6、30°CでL-α-ホスファチジルコリン（卵黄）から1時間あたり1.0 μmolのコリンを放出します。

使用法とパッケージング

包装	底なしのガラス瓶。内容物は□入された融合コーンの中にあります。

保管・発送情報

保存方法	−20°C